

関西屈指の品種数！約130品種の桜を見られる穴場スポット 京都府立植物園 春の桜イベントがいよいよ開催！

3月28日(土)～4月12日(日)「桜ライトアップ2015」

4月17日(金)～4月22日(水)「たそがれ・桜・そぞろ歩き」

京都府立植物園（京都市左京区）は平成27年3月28日（土）～4月12日（日）に「桜ライトアップ2015」を、平成27年4月17日（金）～4月22日（水）に樹木医による「たそがれ・桜・そぞろ歩き」を実施します。

園では、来園者にとっての憩いの場及び教養の場として、他の地域や植物園には見られない多くの貴重な植物を保有し、栽培・展示して、桜についても多様な品種の栽培・展示に努めてまいりました。6年前には約70品種だった桜の保有数は、現在では約200品種に増えました。一般のお客様にはこのうちの130品種をご覧いただくことができ、これは、関西屈指の規模を誇ります。

これらのイベントをきっかけに、園の多様な桜の魅力を皆様楽しんでいただければ幸いです。

3月27日（金）18:30～はプレス向け内覧も実施します（受付：植物園正門）。

ぜひ本イベントをご紹介、ご取材いただきますよう、よろしくお願いたします。

イベント概要

桜ライトアップ2015

【日時】平成27年3月28日（土）～4月12日（日）

日没後（午後6時30分ごろ）～午後9時（入園は午後8時まで）

※期間中は通常午後5時までの開園時間を午後9時までに延長
（入園は午後8時まで）

【場所】京都府立植物園「桜林」エリア

【料金】通常の入園料（次のページ参照）のみでご観賞いただけます。

【内容】約7,000㎡の敷地、約250本の桜を40基の照明でライトアップします。ソメイヨシノやヤエベニシダレザクラなど、長期間にわたって日ごとに変わる夜桜をお楽しみいただけます。



たそがれ・桜・そぞろ歩き

【日時】平成27年4月17日（金）～4月22日（水） 午後5時～午後5時45分ごろ

※4月8日（水）～5月31日（日）は春の開園時間延長期間のため通常午後5時までの開園時間を午後6時30分までに延長（入園は閉園の30分前まで）

【場所】京都府立植物園内の桜品種見本園を中心としたエリア

※参加希望者は、午後5時に植物園会館にお越しください。

【料金】通常の入園料（次のページ参照）のみでご参加いただけます。

【内容】園の樹木医が夕暮れに染まる園内の桜をご案内します。日替わりでご紹介する桜はさまざま。花びらが何百もある「兼六園菊桜」（ケンロクエンキクザクラ）や、黄色の花が咲く「鬱金」（ウコン）、緑の花が咲く「御衣黄」（ギョイコウ）、江戸時代から京都で栽培された歴史ある品種など他では見られない珍しい桜もご覧いただけます。

《内容に関するお問い合わせ》

京都府立植物園
 京都府広報代行(株)オズマPR 関西支社

担当 高橋
 担当 木村

tel:075-701-0141
 tel: 06-6205-9800

参考資料

京都府立植物園の桜の特長

<特長① 長期間にわたって楽しめる>

多くの桜の名所で観賞されているソメイヨシノは4月初旬の1週間程度を見ごろとしますが、当園では遅咲き、早咲きと多品種を保有していることで、3月中から4月下旬ごろまでの長い期間にわたって桜の開花をお楽しみいただけます。

<特長② 珍しい花が楽しめる>

当園でご覧いただける桜の中から、特に珍しいものをご紹介します。

【鬱金（ウコン）】 時期：4月中旬 場所：桜品種見本園（北山門前）



江戸時代中期から、「黄桜」（キザクラ）、「黄金桜」（コガネザクラ）、浅黄桜（アサギザクラ）などの別名でも記録のある歴史ある品種。淡い黄緑色の花弁がショウガ科のウコンの根で染めた色に似ていることが名前の由来です。

【ソメイヨシノの古木】 時期：4月上旬 場所：桜林（観覧温室正面）



昭和20年から駐留米軍将校の住宅地としてGHQに接収されていた当園が昭和32年に返還された後、再開園となった昭和36年に植栽されたと推測される古木です。衰えて腐った古い幹の中から新しい枝が伸びる力強さに、園の歴史を感じることができます。

【御室有明（オムロアリアケ）】 時期：4月中旬 場所：桜品種見本園（北山門前）



京都市右京区の仁和寺（御室御所）で栽培される御室桜は一重から八重咲きまでありますが、これらのうち半八重のものが御室有明と呼ばれます。江戸時代から続く京都の統的な桜です。

園の桜守(樹木医) 中井 貞さん

平成21年4月 樹木医として京都府庁に入庁
当時、桜の品種の保有数は約70品種だったが、未導入品種を調査し現在の200品種の保有まで導いた。
たそがれ・桜・そぞろ歩きの担当者のひとり。ガイドが面白いと、リピーターも多い。

【中井さんのコメント】

桜は、手をかければかけるだけ、応えてくれる樹木です。
土壌改良などを繰り返し美しく咲かせた桜を、いろいろな時間帯にご覧いただけるよう、園では、桜の季節には開園時間を延長し、夕方や夜にも開園しています。
まだ途中段階ではありますが、植物園として多様な品種の栽培・保有を目指しています。他の桜の名所では楽しめない、植物としての桜のおもしろさを楽しめる穴場スポットです。



京都府立植物園の概要

住所：京都市左京区下賀茂半木町 電話番号：075-701-0141

料金：一般200円、高校生150円、中学生以下無料

70歳以上の方(要証明提示)と障害者手帳提示の方は無料(温室入室料を含む)

営業時間：午前9時～午後5時(入園は午後4時まで)

4月8日(月)～5月31日(日)は春の開園時間延長のため午前9時～午後6時半(入園は午後6時まで)